

平成21年度桜本老人いきいの家の管理運営に対する評価について

1 指定管理者

(1) 指定管理者	社会福祉法人 川崎市川崎区社会福祉協議会（川崎区砂子1丁目10番地2）
(2) 指定期間	平成21年4月1日 ～ 平成26年3月31日
(3) 業務の範囲	<p>1 老人いきいの家の運営等に関する業務</p> <p>ア 教養の向上及びレクリエーション活動に関する事業の実施</p> <p>イ 虚弱な高齢者を対象とした介護予防に資する取組み</p> <p>ウ 団塊世代の利用の促進に資する取組み</p> <p>エ 利用者の自主活動に対する活動の場の提供</p> <p>オ 入浴事業</p> <p>カ 川崎市及び川崎市から事業を委託された団体が実施する事業への場の提供</p> <p>キ 運営委員会の設置・運営に関すること</p> <p>2 利用の許可に関する業務</p> <p>3 老人いきいの家の利用等の報告に関する業務</p> <p>4 施設等の維持管理に関する業務</p>

2 管理運営(事業執行)に対する評価

評価項目	平成21年度管理運営の状況	評価及び指導
(1) 管理業務の実施状況		
①管理運営の基本的事項	<p>高齢者の健康の維持・増進や生きがいづくり、住民同士の支えあいやふれあいを基盤とする小地域福祉活動の実践と普及並びに地域人材の発掘、さらに地域の拠点としての有効的な活用可能性を見出すための取組みを柱とする。また、地区社会福祉協議会と連携し、運営委員会を設置して地域からのニーズ把握の体制を築いた。管理人は一人一人に声かけを行い、利用者の健康状態の確認、注意喚起に努めた。また、公平にサービスを提供するため、講座申込み状況や団体利用申込み状況を常に公開できるように配慮した。</p>	<p>運営委員会を通じたニーズ把握及び地区社会福祉協議会との連携により、地域に根ざした施設として、概ね適切に管理運営がなされている。また、管理人による声かけや教養講座申込状況・団体貸出申込状況の公開など、高齢者の心身や公平なサービス提供にも十分な配慮がなされている。</p>
②安全管理への取り組み	<p>感染症のまん延を防止するため、必要な対応を行うための情報を提供した。入浴事業にあたっては水質検査を実施し衛生管理に努め、管理人が入館時に顔色や様子をチェックし、簡易血圧測定器で測り必要な呼びかけを行い、利用者2名以上で入浴するようにした。さらに、事故発生時には、区社協本部から職員が出向き管理人のフォローをするようにした。また、防災体制を整えるため、防火管理者を中心に避難訓練や消防訓練を実施し、避難経路の確認等を行った。</p>	<p>概ね適切な安全管理がなされている。高齢者の入浴の危険性を年頭に置いた取組みを行っていること及び消防訓練を実施したことは評価できる。今後においても、さらなる安全管理に努めるよう指導していく。</p>
③運営に関する業務	<p>介護予防に資する取組み及び団塊世代の利用促進に資する取組みについては、具体的な実施に至らなかった。教養講座については、高齢者の健康増進や生きがいづくりを目的とし、魅力ある講座を企画した。また、場や情報の提供など自主活動に対する側面的な支援を行った。教養講座の広報にあたっては、老人いきいの家でのポスター掲示・チラシの配布、周辺町内会の協力による掲示板の利用、区社協及び地区社協広報誌への掲載を行った。入浴事業にあたっては、水質検査・塩素濃度検査を実施し、保健所による指導や衛生規則の遵守を徹底した。</p>	<p>年度を通じて概ね順調に運営が行われているが、介護予防及び団塊世代の利用促進事業については、実施できるよう指導する。町内会掲示板の利用、川崎区社会福祉協議会等の広報誌への掲載により、教養講座の広報に努めたことは評価できる。また、入浴事業についても、安全管理に配慮し、実施されている。今後においても、各事業の充実を図ることを期待する。</p>

評価項目	平成21年度管理運営の状況	評価及び指導																
(2) 利用状況																		
① 利用状況	<table border="1"> <tr> <td>団体利用者数</td> <td>2,522 人</td> </tr> <tr> <td>個人利用者数</td> <td>11,000 人</td> </tr> <tr> <td>利用者数</td> <td>13,522 人</td> </tr> <tr> <td>入浴者数</td> <td>1,076 人</td> </tr> </table>	団体利用者数	2,522 人	個人利用者数	11,000 人	利用者数	13,522 人	入浴者数	1,076 人	前年度の状況と比較し、利用者数は約300人増加している。事業内容や広報を工夫するなどして、引き続き新規利用者の増加に努めることを望む。								
団体利用者数	2,522 人																	
個人利用者数	11,000 人																	
利用者数	13,522 人																	
入浴者数	1,076 人																	
② 講座・行事の実施状況	<table border="1"> <tr> <td>教養講座実施回数</td> <td>70 回</td> </tr> <tr> <td>教養講座参加人数</td> <td>910 人</td> </tr> <tr> <td>行事実施回数</td> <td>1 回</td> </tr> </table>	教養講座実施回数	70 回	教養講座参加人数	910 人	行事実施回数	1 回	教養講座、行事ともほぼ計画どおり実施されている。今後もより一層の内容の充実を図ることを望む。										
教養講座実施回数	70 回																	
教養講座参加人数	910 人																	
行事実施回数	1 回																	
(3) 収支状況																		
① 収支状況	<table border="1"> <tr> <td>委託料</td> <td>2,796,978 円</td> </tr> <tr> <td>指定管理委託料</td> <td>2,796,978 円</td> </tr> <tr> <td>支出金額</td> <td>2,711,742 円</td> </tr> <tr> <td>人件費</td> <td>2,231,291 円</td> </tr> <tr> <td>事務費</td> <td>157,637 円</td> </tr> <tr> <td>事業費</td> <td>189,624 円</td> </tr> <tr> <td>消費税</td> <td>133,190 円</td> </tr> <tr> <td>収支差額</td> <td>85,236 円</td> </tr> </table>	委託料	2,796,978 円	指定管理委託料	2,796,978 円	支出金額	2,711,742 円	人件費	2,231,291 円	事務費	157,637 円	事業費	189,624 円	消費税	133,190 円	収支差額	85,236 円	委託料の範囲内で適切な執行を行ったことは評価できる。今後ともサービスの質を維持しながら、適切な委託料の執行を望む。
委託料	2,796,978 円																	
指定管理委託料	2,796,978 円																	
支出金額	2,711,742 円																	
人件費	2,231,291 円																	
事務費	157,637 円																	
事業費	189,624 円																	
消費税	133,190 円																	
収支差額	85,236 円																	
(4) その他																		
① 利用者からの意見・要望等への対応	管理人を要望・苦情受付担当窓口、区社協事務局長を苦情解決責任者とし、要綱に基づいて、対応にあたっている。また、意見箱の設置などにより、利用者からの意見や要望が出やすくなるよう工夫を行っている。	利用者からの意見・要望等が出やすいよう工夫されており、対応体制もしっかりしている。今後とも意見や要望を把握し、運営に反映させていくことを望む。																
② 個人情報の保護	本会の個人情報保護規定に基づき、個人情報の適正な取扱いの確保、個人の権利利益の保護に努めた。具体的に、利用者には「緊急連絡先記録簿」を初回利用日に記入していただく際、利用者本人にはその必要性について説明し同意を得ている。その保管は、講座・事業等の申込書、名簿等とあわせて、いこいの家からの持出しを厳禁とし、保存管理への十分な配慮のもと管理人が行い、また目的を終えた書類については、シュレッダー等で処理し、外部に漏れないよう廃棄した。管理人を含む職員は、就業規則・就業要綱により、職務上知り得た個人情報については、在職中のみでなく、退職後も守秘義務があることを徹底している。	緊急時に備えて利用者の個人情報を保有しているが、方針に基づき、協定に従って適正な維持管理が行われている。今後とも個人情報保護の徹底を望む。																

3 管理運営(事業執行)に対する全体的な評価

平成21年度においては、指定管理業務第2期目の1年目にあたり、指定管理者が1期目から変更した施設で、概ね事業計画に沿った管理運営を行っており、特に、前指定管理者において、組織化できなかった運営委員会を組織したことは評価できる。また、利用者が昨年度に比べ増加している点も評価できる。引き続き高齢者の健全ないこいの場として高齢者の心身の健康増進に寄与できるよう、さらに多くの高齢者に利用してもらえるように努めて欲しい。

4 22年度の管理運営(事業執行)に対する指導事項等

・さらなる利用者意見の把握に努めるとともに、介護予防及び団塊世代の利用促進につながるような魅力ある講座、行事等の実施に努めること。